

# 年間学習指導計画(案) 教育出版『中学書写』

## 【第二学年】

月	時間	学習単元	学習教材	学習指導のねらい	ページ
4～7月	適時	目次 第二学年		○中学校二年生における書写の学習内容や目標を理解することができる。	65
	適時	□あの人が残した文字		○日本の歴史上の人物が書いてきた文字について関心をもち、書かれた字形や身のまわりで残されてきた文字について話し合い、文字についての興味を深めることができる。	66・67
	6時間	一 行書で書こう	①点画の連続と省略1「初志」	○点画の連続と「ころもへん」の省略を理解して書くことができる。	68・69
			②点画の連続と省略2「雲海」	○点画の連続を理解して書くことができる。 ○「あめかんむり」と「さんずい」の省略を理解して書くことができる。	70・71
			③点画の省略と筆順の変化「開花」	○「もんがまえ」の省略を理解して書くことができる。 ○「くさかんむり」の筆順の変化を理解して書くことができる。	72・73
④学習を生かして書く一行書の特徴一			○これまでに学習してきた行書の特徴を理解して書くことができる。	74・75	
9～11月	7時間	二 行書と仮名を調和させて書いてみよう	①行書と仮名の調和「喜びの声」	○点画の連続と配列を理解して書くことができる。	76・77
			②行書に調和する仮名「いろは歌」	○行書に調和する仮名の字形、筆使いを理解して書くことができる。 ○「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	78・79
			③文字の大きさと配列 色紙『論語』 短冊『古今和歌集』	○文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	80～83
			■日本建築と「書」【適時】	○日本の伝統的な建築とそこに日常として使われていた「書」について理解することができる。	84・85
			④書く速さを意識して書く『走れメロス』	○行書と行書に調和する仮名の書き方を理解して、速く書くことを意識することができる。	86・87
			⑤学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列一『枕草子』『平家物語』	○行書と仮名の調和と配列を理解して書くことができる。	88～91
12・1月	3時間	■書き初めを書く「夢を信じる」「功を奏する」		○文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。	133～136
1～3月	4時間	三 学習活動や日常生活に生かして書こう	①さまざまな書く場面	○目的や必要に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合うことができる。	92・93
			■文字で心を伝えよう2【適時】	○横断幕やクラス旗を例に文字で心を伝えることを知り、その場面に応じた書き方を理解することができる。	94・95
			②学習を生かして書く ①新聞を書く	○読み手を意識して、新聞を書くことができる。 ○文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。	96・97
			②学習を生かして書く ②掲示物(ポスター)に案内を書く	○伝える相手を意識して、掲示物に案内を書くことができる。 ○文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。	98
			②学習を生かして書く ③案内状を書く	○伝える相手を意識して、書式や配列を理解して、案内状を書くことができる。 ○目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	99
			■社会で生きる文字【適時】	○小・中学校での書写学習が社会生活の中で生かされている場面を理解し、職業観を意識することができる。	100